

『犬と猫の検査・手技ガイド 2019 私はこう読む』（第1版第1刷）  
訂正とお詫び

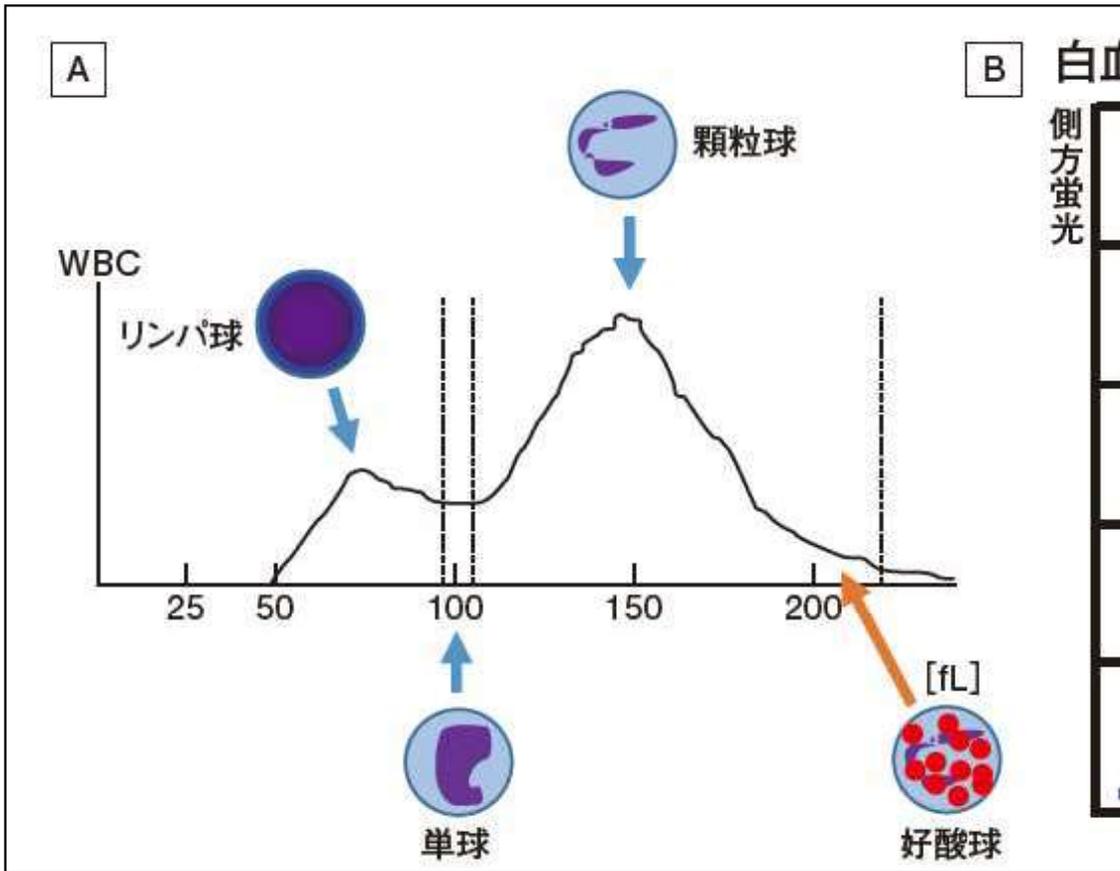
掲載記事中、以下の記事に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様及び関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press  
2024年06月18日作成

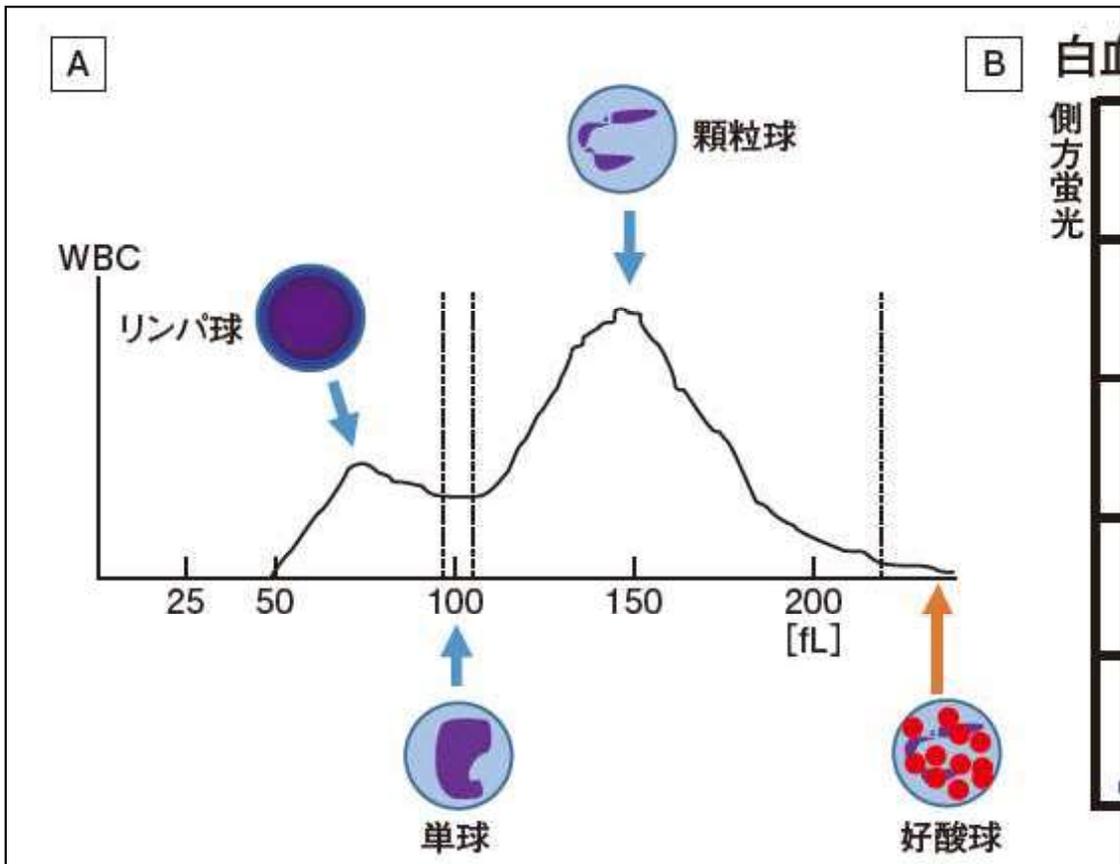
頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正
p.X	CONTENTS	第8章 細胞診・生検	呼吸器（鼻・喉頭） 鼻 咽頭	
p.150	第1部 第2章 1 血球数算定・血液像 白血球分画	図（A）の矢印の位置	<u>詳細は下記「※1」にてご確認お願い申し上げます。</u>	
p.153	赤血球数（RBC）	基準値	基準値（ $10^8/\mu\text{L}$ ）	基準値（ $10^6/\mu\text{L}$ ）
p.191	第1部 第2章 2 血液凝固線溶検査 出血時間	基準値	<u>詳細は下記「※2」にてご確認お願い申し上げます。</u>	
p.416	第1部 第6章 デキサメタゾン抑制試験	検査・評価法 低用量デキサメタゾン抑制試験のカットオフ値	*各施設ごとにカットオフ値を設定する（通常、約 11.5 mg/dL <345nmol/L>）。	*各施設ごとにカットオフ値を設定する（通常、約 1~1.5 $\mu\text{g/dL}$ <30~45nmol/L>）。
p.513	章扉	第8章 細胞診・生検	呼吸器（鼻・喉頭） 鼻 咽頭	呼吸器（鼻・喉頭） 鼻 喉頭

※1 p150

(誤)



(正)



基準値	検査機器	対象動物	検査部位
4分未満	Surgicutt Bleeding Time Device 1.0 mm × 5.0 mm (Accriva Diagnosites, Inc. CA, USA)	犬	頬側粘膜
3分未満		猫	
90～120秒*	BD マイクロティナ® クイックヒール™ランセット 1.0 mm×2.5 mm (ベクトン・ディッキンソン アンド カンパニー)	犬	頬側粘膜

\*筆者の病院にて設定した暫定基準値